

2025年2月17日

プラスオートメーション株式会社

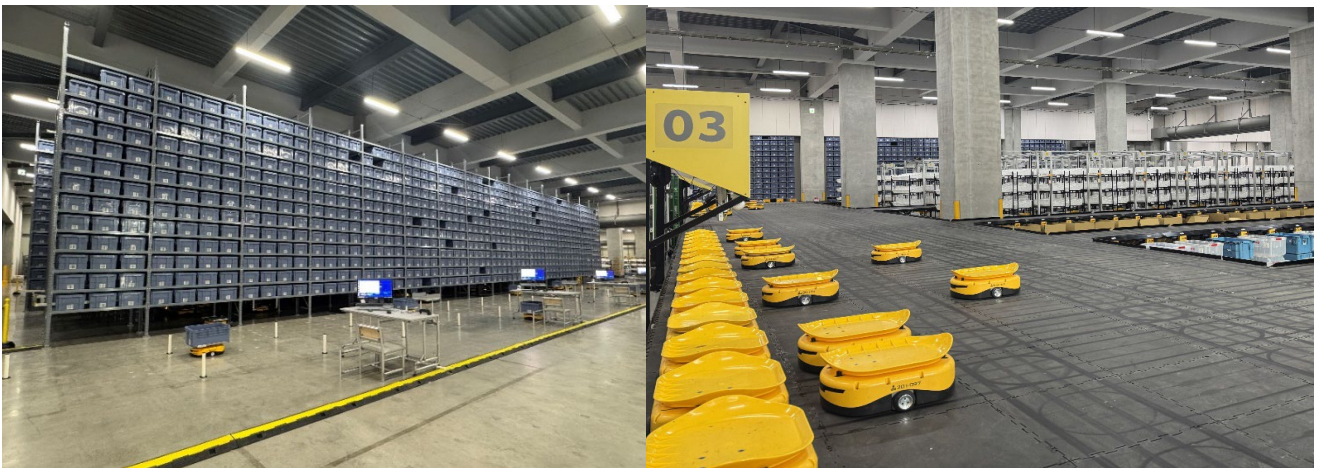
報道各位

越境 EC プラットフォームに「AirRob」を導入 t-Sort 3D、t-Sort sd5 との大規模複合活用

物流ロボティクスサービス「RaaS」(Robotics as a Service)を展開するプラスオートメーション株式会社(本社所在地:東京都江東区、代表取締役:山田 章吾、以下「+A」)は、越境 EC プラットフォーム「Doorzo (任意門)」を運営する SIG Service 株式会社(本社所在地:東京都北区、代表取締役:張 章、以下「SIG」)の物流倉庫において、ロボティクス自動倉庫「AirRob (エアロボ)」を2025年1月に稼働開始しました。

「Doorzo」は、120カ国400万人以上のユーザーが利用する越境 EC プラットフォームで、複数の国内 EC サイトと提携し、日本の商品を海外に発送する代理購入サービスを提供しています。これまでは t-Sort 3D と t-Sort sd5 の連動運用、高さ2mの保管棚を使用していましたが、事業成長に伴い商品保管能力が不足し、よりスペース効率の高い新たな保管ソリューション導入を検討していました。AirRob の導入により、従来の保管棚エリアは1万トートが保管可能な5mの高密度ケース自動倉庫に置き換わりました。AirRob はマルチステーション、フロアボット、クレーンの増台により簡単に処理能力を向上出来る特徴を有していますが、本件はまず保管ラック2列あたり4台のクレーンを配置したことで SIG が求める高処理能力も実現しました。

本導入の決め手は業務効率の向上に加え、①機構拡張や連携に t-Sort の既存システムが有効活用できる②+A に運用設計からメンテナンスまで依頼できる③契約から運用開始までわずか3カ月という短リードタイム、の3点でした。+A は引き続きより多くのお客様の現場課題を解決できるよう、関わるすべての皆さまと共に多様なサービスを創っていきます。



AirRob で高密度保管と入出荷管理をし、トータルピッキングした商品を荷姿や保管期間により3DかAGVで仕分ける。

●「AirRob」の特長

「AirRob」は、従来の自動倉庫と比較しレイアウトの自由度が高い保管ソリューションです。倉庫のフロアの形状や天井の高さに合わせた設計が可能で、防火区画を跨ぐことも可能です。ラック間のクリアランスやステーション設置スペースが小さく、倉庫スペースをフル活用することができます。600 トート/時間/ステーションのピッキングを実現します。従来の自動倉庫導入ハードルを下げ、多くのお客様の物流現場の作業効率化を推進するソリューションです。

Web : <https://plus-automation.com/robot-service/airrob/>

●SIG Service 株式会社の概要

国内の複数の EC サイトと提携し、アプリと Web サイトを通じて、日本商品の海外発送、カスタマーサポート、商品ページの自動翻訳、決済代行など、高品質な越境 EC 体験を提供している。

Web : <https://sig-service.co.jp/>

<プラスオートメーション株式会社について <https://plus-automation.com>>

+Automation は、テクノロジーと物流を融合させ、物流現場にさまざまな"+A"を届けるために生まれた会社です。

"+A"には、業務の効率化だけでなく、その先にあるやり甲斐や、よろこびなどの"+α"も込めています。

+A は「倉庫の自動化をもっと身近に、簡単に。」をサービスコンセプトに、サブスクリプション型の物流 RaaS (Robotics as a Service) を提供するリーディングカンパニーです。あらゆるテクノロジーを活用し、これまでにないサービスを物流に携わるすべての人と共に創っていきます。

本件に関する問い合わせ先：プラスオートメーション

担当：横田

問い合わせ先：https://hubs.ly/Q01_B2S70

